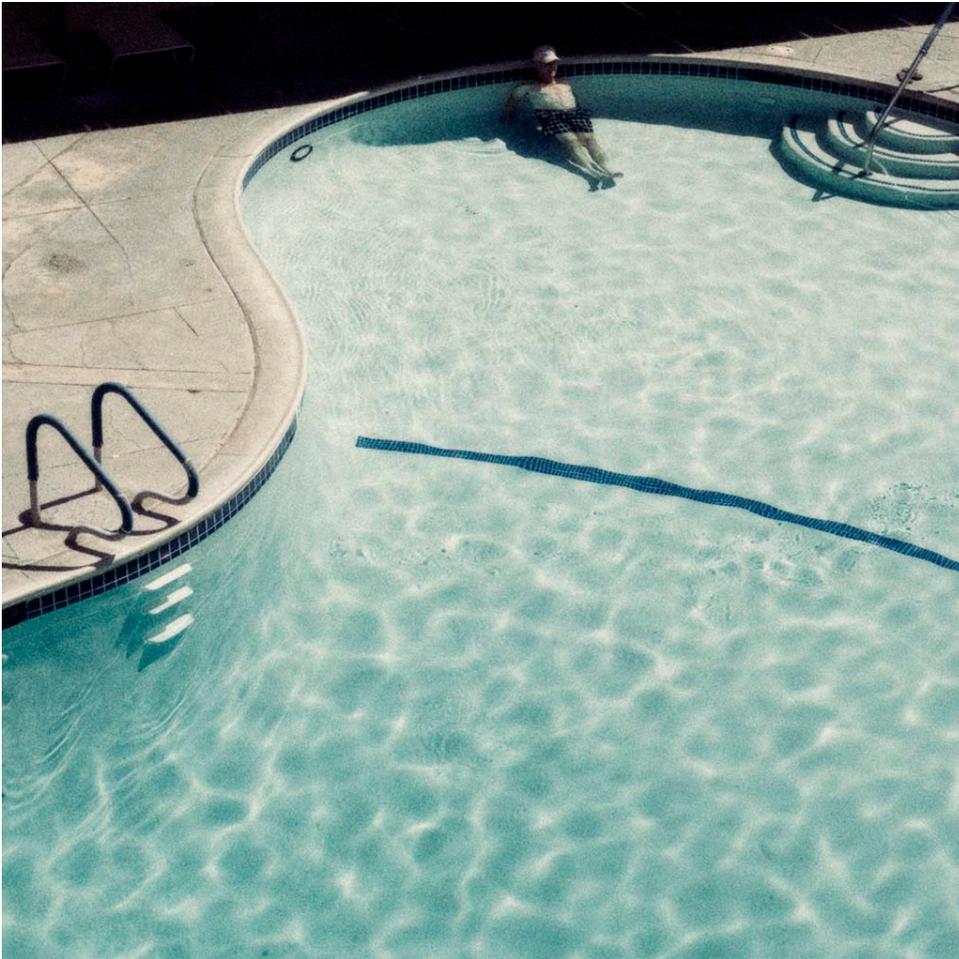


マリオン・クラーク / Marion Dubier-Clark

“From San Francisco to Los Angeles”

2013/ 8/23(金) – 9/6(金)



フランス・ノルマンディーに生まれ南仏で育ったマリオン・デュビエール=クラークは幼少の頃に世界中を旅する決意をします。18歳に成長した少女は10年という月日をかけてオーストラリアからメキシコ、トルコからイギリスを巡りました。その後写真を学んだマリオンはポラロイドカメラを片手にさらなる冒険を重ね、2009年にフランスで作品集「100 Polaroids」を発表、同著作は大好評を博しマリオンの写真家としての出発点を築きました。その後2冊の作品集を出版し、現在フランス国立図書館の20世紀コレクションにも作品が収蔵されています。

マリオンの作品は一瞬にして観客を世界各地へ誘うパスポートのようです。ポラロイドフィルムによってどこか郷愁の漂う不可思議な時空間に取り込まれた被写体は、現在でも過去でもない、ファンタジックな一瞬として永遠の風景へと転じます。

ミニマルな構図で捉えられた空間は、ポラロイド特有のテクスチャーによってフラットな色彩や形態に還元された絵画のようです。写真でありながら物質的なリアリティーが排除された一連の作品は、デジタルカメラでも絵具でも表現することのできない、特有の平面性によって一連の普遍的な情景を紡ぎだします。

今展ではマリオンの最新の著作である「From San Francisco to Los Angeles」から小品を中心に大量の作品を一挙に公開いたします。日本初公開となる Marion Dubier-Clark 展へ是非お越し下さい。

企画・問い合わせ先：tokyo arts gallery 石井美奈子

150-0011 東京都渋谷区東 2-23-8 tel. 03-6427-6665 fax. 03-6427-6664
info@tokyoarts.com www.tokyoartsgallery.com

tokyoarts gallery